

珠玉の東京富士美術館コレクション
西洋絵画の400年

Masterpieces from Tokyo Fuji Art Museum
400 Years of Western Paintings

4月12日(土)~6月8日(日)

Apr. 12(Sat.) - Jun. 8(Sun.)

1983年に八王子に開館した東京富士美術館の西洋絵画コレクションから厳選された約80点の絵画によって、ルネサンスから現代まで400年を超える西洋絵画の歴史を振り返ります。きら星のごとき巨匠たちの傑作の数々に目を奪われるだけでなく、理念や思想を伝える手段としての絵画から、色彩と形態の喜びをうたいあげる絵画へと、時代とともに変遷するその本質を「まるで美術の教科書」のように鑑賞することができます。



ビエール・オ・モリス、ル・ワール(奥・坂の女) 1892年画 透視・ル・ヴァス
東京富士美術館蔵 ©東京富士美術館イメージ・ケア/DPN/Paros

大カブコン展
一世界を魅了するゲームクリエイション

Capcom Creation : Moving hearts across the globe

7月5日(土)~9月7日(日)

Jul. 5(Sat.) - Sep. 7(Sun.)

1983年の創業から世界的ゲームソフトメーカーに成長した現在まで、その本社を大阪に置くカブコンは、数多くのタイトルを開発し、世界の人々を魅了してきました。本展では開発者たちの「手」による企画書や原画、ボスターやパッケージなどのグラフィックワーク、体験型コンテンツ、最新技術など、ゲーム誕生の壮大なプロセスとそこに関わるクリエイターたちの想像力と実現力を惜しみなく鑑賞できるように投入し、日本が誇るゲーム文化をあらためて捉えなおす機会を創出します。



大カブコン展：キービジュアル ©CAPCOM

藤田嗣治 絵画と写真

Fujita : Painting and Photography

9月27日(土)~12月7日(日)

Sep. 27(Sat.) - Dec. 7(Sun.)

藤田嗣治(1886-1968)は、「美しく乳白色の下地」と評えられたその絵画で世界的に知られ、エコール・ド・パリを代表する画家です。いくつものカメラを所有していた藤田は、生涯にわたって数千枚におよぶ写真を残しました。本展では、絵画に現れる写真の断片を徹底的に探り当て、藤田の写真活用のプロセスを検証します。日本とフランス・エゾンズ県に現存する写真を厳選して紹介し、描くことと撮ることの間を絶えず行き来した「眼の軌跡」を追いかけ、知られざる魅力に迫ります。



藤田嗣治(猫を抱く少女)1949年 個人蔵(名古屋美術館蔵)
©Fondation Fujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E5929

コレクション×現代美術
名古屋美術館をめぐる4つの対話

Four Dialogues: Contemporary Artists collaborate with the Collection

1月9日(金)~3月8日(日)

Jan. 9 (Fri.) - Mar. 8 (Sun.)

アートの最前線に立つ作家たちは、名古屋美術館をどのように見るのでしょうか?本展では、愛知にゆかりのある齊と公平太、田村友一郎、蓮沼昌宏、三瓶玲奈の4人が、美術館の作品と対話しながら展示空間をつくります。コレクションやその背景にある歴史といった要素に四人四様の方法でアプローチして見てくる。作品や美術館の姿を窺いいただきます。作品や美術館の新たな側面を見つけ、そして、美術館のこれからのについても考える機会となるでしょう。



名古屋美術館内観

特集 Special Exhibition from the Collection
匹亞会結成70年 結成前夜

70th Anniversary of Birth of Hitsuaka :
The Eve of Formation

4月12日(土)~6月8日(日)

Apr. 12(Sat.) - Jun. 8(Sun.)

匹亞会は、1955年に結成、1960年まで活動した名古屋の前身日本画グループです。堀尾実、竹田大助、水谷勇夫をはじめとするメンバーは、日本画の新しい表現を求めて、皮肉な姿勢をもって前衛へと突き進みました。匹亞会結成の名古屋(中央・東京)の動乱の様子から、匹亞会結成に至るまでを辿ります。



堀尾実(全盛)1956年

特集 Special Exhibition from the Collection

河原温 一日を 一日で えがく

On Kawara Painting a Day in a Day

7月5日(土)~9月7日(日)

Jul. 5(Sat.) - Sep. 7(Sun.)

午前0時から24時間のあいだに、その日の日付を描く。河原温の「Today」シリーズは、コンセプトアートとして世界的に評価の高い作品です。定められたルールにのっとりクールに描き続けられる日付。しかしそれら一つ一つ、あるいは一日の連続として眺めるとき、見る人に起る感情はどのようなものでしょうか?今回は、当館が所蔵する「Today」シリーズの作品をほぼすべて展示します。
★夏休み子どものプログラム



河原温 FEB.23.1966 (Today) (1966-2013.)
1966年 ©One Million Years Foundation

常設企画展 Special Thematic Exhibition

近代名古屋の日本画界
The modern Japanese painting (Nihonga) scene in Nagoya

9月27日(土)~12月7日(日)

Sep. 27(Sat.) - Dec. 7(Sun.)

戦前の名古屋を中心とした中京圏の様子を、日本画に着目して2期立てで紹介します。第1期「名古屋開府三百年 中京圏の成」(2024年4月5日~1910)の「名古屋開府三百年 名古屋美術展覧会」に出品した日本画家の作品を中心に紹介します。第2期「東海美術協会と次世代の日本画家たち」では、名古屋美術協会の機に結成された日本初の民間総合美術団体 東海美術協会の活動と、大正・昭和戦前期に名古屋を中心に活動した次世代の日本画家たちを作品、資料の両面から取り上げます。



豊田清(東郷)
制作年不詳、絹本墨画、名古屋美術館蔵(令和6年度寄贈)

博物館連携事業 Learning Exhibit. In Collaboration with Nagoya City Museum

なごやのうつりかわり

The Changes of Nagoya, Citizens' Lifestyle

1月14日(水)~3月8日(日)

Jan. 14(Wed.) - Mar. 8(Sun.)

リニューアル休館中の市博物館と連携し、小学校3年生社会科の単元に対応した事業を実施します。「電化前の暮らし」「電化後の暮らし」を通して、暮らしのうつりかわり体験ができます。
電化前の暮らし(2024年度企画展)



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
企画展示室 1・2	4/12 特別展 珠玉の東京富士美術館コレクション 西洋絵画の400年		6/8	7/5 特別展 大カブコン展 一世界を魅了するゲームクリエイション		9/7	9/27 特別展 藤田嗣治 絵画と写真		12/7	1/9 特別展 コレクション×現代美術 名古屋美術館をめぐる4つの対話		3/8
常設展示室1	4/12 常設展 名品コレクション展Ⅰ(前期) ●エコール・ド・パリ: フランスという場所 ●メキシコ・ルネサンス: 人間のちから ●現代の美術: ニューヨークの日本人作家たちⅠ ★夏休み子どものプログラム		6/8	7/5 常設展 名品コレクション展Ⅰ(後期) ●エコール・ド・パリ: 藤田嗣治の周辺 ●メキシコ・ルネサンス: 人間のちから ●現代の美術: ニューヨークの日本人作家たちⅡ ★夏休み子どものプログラム		9/7	9/27 常設展 名品コレクション展Ⅱ ●エコール・ド・パリ: 藤田嗣治の周辺 ●メキシコ・ルネサンス: 藤田嗣治の見たメキシコ ●現代の美術: 戦後日本画の展開		12/7	1/9 常設展 名品コレクション展Ⅲ ●メキシコ・ルネサンス: 豊田、下巻、記録 ●現代の美術: 月日をとまじく		3/8
常設展示室2	4/12 ●郷土の美術: 匹亞会結成70年 堀尾実		6/8	7/5 ●郷土の美術: 匹亞会結成70年 堀尾実 ★夏休み子どものプログラム		9/7	9/27 常設企画展 近代名古屋の日本画界		12/7	1/9 ●郷土の美術: なごやのうつりかわり		3/8
常設展示室3	4/12 特集 匹亞会結成70年 結成前夜		6/8	7/5 特集 河原温 一日を 一日で えがく ★夏休み子どものプログラム		9/7	9/27 常設企画展 近代名古屋の日本画界		12/7	1/14 博物館連携事業 なごやのうつりかわり		3/8
講堂		●5/31 教育普及事業 コレクション解析学 堀尾実(フォト・コラージュ)			●8/30 教育普及事業 コレクション解析学 舟越桂(かたい布はとときどき話す)		●11/29 教育普及事業 コレクション解析学 東海美術協会編(東海秀実絵)		●1/31 教育普及事業 コレクション解析学 鬼越建二(モラン・河野)			

INFORMATION

利用のご案内

開館時間 = 午前9時30分～午後5時、金曜日は午後8時まで
(いずれも入場は開館の30分前まで)

休 館 日 = 月曜日(祝休日の場合は除く)、翌平日休館、ただし8月12日、11月25日は開館
展示期間: 4月1日～4月11日、6月9日～7月4日、9月8日～9月26日
12月8日～1月8日、3月9日～3月20日(予定)
年末年始: 12月29日～1月3日

Museum Hours

9:30 a.m.-5:00 p.m.-8:00 p.m. on Friday except holiday
(entrance until 30 minutes before closing)

Closed on Mondays(if Monday is a holiday, the following weekday),
Apr. 1-11, Jun. 9-July. 4, Sep. 8-26, Dec. 8-Jan. 8, Mar. 9-20

観覧料 / Admission

常設展 Permanent Exhibition	個人 Admission	団体 Group Admission (more than 30 people)	定期観覧券(1年分) Annual Passes (for one year)
一般 Adults	300円	250円	1200円
高大学生 University and senior high schools with ID 名古屋市内の中学生以上 Chosen in Nagoya City and over 15 years	200円	150円	800円
中学生以下 Lower high school students and under	100円	80円	400円
一般 Adults	500円	無料 Free	

※障害のある方、難病者の方は手帳(マイリDID可)または受給者証の提示により本人と付添者2名まで無料常設展をご覧いただけます。
Disabled person can see permanent exhibition for free with up to two helpers or attendants by showing disability certificate.

※特別展はその都度定めます。
Temporary Exhibition fee will be determined for each Exhibition.

※共通観覧券で特別展やプラネタリウムを観覧することはできません。
Combination Ticket does not include fee for Temporary Exhibitions and Planetarium.

交通案内

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、5番出口から南へ徒歩8分

地下鉄鶴舞線「大須観音」下車、2番出口から北へ徒歩7分

地下鉄名城線「矢場町」下車、4番出口から西へ徒歩10分

Transportation

Subway: Get off at "Fushimi" on the Higashiyama Line and the Tsurumai Line, go through #5 exit and walk south for 8 minutes.
Get off at "Osakannon" on the Tsurumai Line, go through #2 exit and walk north for 7 minutes.
Get off at "Yabacho" on the Meijo Line, go through #4 exit and walk west for 10 minutes.



名古屋美術館 〒460-0008
名古屋市中区栄二丁目17番25号(芸術と科学の社・白川公園内)
17-25, Sakae 2-chome, Naka-ku, Nagoya, 460-0008, Japan
Tel. 052-212-0001 Fax. 052-212-0005
https://art-museum.city.nagoya.jp/

※紙/リプを含む再生紙を使用しています。

常設展(常設展示室1・2)

Permanent Exhibition

常設展「名品コレクション展」では、1年度を3期に分けて展示替えを行い、約9,800点の所蔵作品の中から時期ごとのテーマにあわせた作品を展示しています。

<コレクション>

■ エコール・ド・パリ

パリに生き、パリを描き続けた郷土出身の画家荻須高徳との関連から、エコール・ド・パリとよばれる1910年頃から1930年頃にかけて芸術の都パリに集まってきた外国人作家たちと、その周辺のフランス人作家の作品を収集しています。

【主な作家】
モディリアーニ、シャガール、コトリロ、ローランサン、藤田嗣治、岡島勉など



アマデオ・モディリアーニ
(お好む髪少女) 1918年頃

■ メキシコ・ルネサンス

メキシコで活躍した郷土出身の画家北川民次との関連から、メキシコルネサンスとよばれる革命に揺れる20世紀前半のメキシコの近代美術を収集しています。

【主な作家】
オロスコ、リベラ、シケイロス、タマヨ、カロー、イスキエル、ティナ、モッドテ、ベン・シャーン、北川民次など



フリーダ・カロー
(死の仮面を被った少女) 1938年

■ 郷土の美術

名古屋を中心とした地域は、東京と京阪神の間にあつて、両者の影響を受けながらも独自の美術・文化を形成し発展してきました。この地方にゆかりのある作家を中心として、すぐれた作品を収集しています。

【主な作家】
前田青柳、三岸節子、中村正義、川合玉堂、熊谷守一、鬼頭藤三郎、山本謙など



川合玉堂
(秋風白雲) 1940年頃

■ 現代の美術

第二次世界大戦後から現代にいたる美術作品のうち、この地方にゆかりのある荒川修作、河原田、桑山忠明の三人と、関連の作家の作品を収集しています。また、名古屋美術館がオープンした1980年代を中心に、国内外の作家の作品を収集しています。美術館のある白川公園内には、イサム・ノグチやアントニー・ゴムリーなどによる現代彫刻がおかれています。

【主な作家】
富島達男、森村卓、草間彌生、ナムジュン・バイク、キファー、ステラ、アバノヴィッチなど



アレクサンダー・コルツォフ
(ファゴール・ドラゴン) 1969年
(美術館エントランス前)
(美術館エントランス前)

ボランティアによる常設展ギャラリートーク(開館日は毎日実施)

午前11時から/午後1時30分から 参加費無料(観覧料のみ)、申込不要
※都合により時間の変更や中止をすることがあります。

教育普及事業

Education

コレクション解析学2025

Lecture of the Collection 2025

名古屋美術館のコレクションから1点選び、その魅力を学芸員が紹介する講座です。
各回午後2時より、2階講堂にて開催します。定員180名(申込不要、入場無料、約90分)

第1回 5月31日[土]

May. 31 [Sat.]

演題: 「堀尾実の実験」

作品: 堀尾実(「フォト・コラージュ」) 1967-72年頃
講師: 久保田博美
日本画において実験的探究を続けた堀尾実の作品とその思考を振り返ります。



堀尾実(「フォト・コラージュ」) 1967-72年頃

第2回 8月30日[土]

Aug. 30 [Sat.]

演題: 「彫刻家の役割」

作品: 舟越雄三(「かたい布はときどき話す」)
講師: 井口節子
2024年3月に逝去した彫刻家・舟越雄三の作品を通して語られてくる人間性の存在への問いかけについて考えます。



舟越雄三(「かたい布はときどき話す」) 1980年

第3回 11月29日[土]

Nov. 29 [Sat.]

演題: 「東海美術協会の日本画家たち」

作品: 東海美術協会展(東海秀美術) 1929年
講師: 近藤裕人
東海美術協会の画家たちが無沢古蓮(1861-1934)のために描いた画帖から、当時の中日本日画壇を振り返っていきます。



左: (東海秀美術(真観)) 1929年
右: 青木格白(望) (東海秀美術) 所収

第4回 1月31日[土]

Jan. 31 [Sat.]

演題: 「鬼頭斐二郎の新収蔵作品」

作品: 鬼頭斐二郎(モラン河畔) 1926年
講師: 森本陽秀
鬼頭斐二郎の暮らした東京を中心に、その生涯と作品をご紹介します。



鬼頭斐二郎(モラン河畔) 1926年

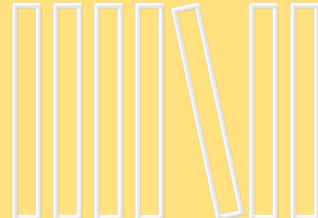
音声ガイド

多言語ミュージアム展示ガイド
「ポケット学芸員」

スマートフォンやタブレット端末でコレクションの解説を視聴できる、無料の音声ガイドアプリです。当館の代表的な作品の解説に加え、展外彫刻や建築の見どころなど計100件を多言語(日本語・英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語)にて紹介しています。一度ダウンロードすればいつでもどこでもご視聴いただけますので、ぜひご利用ください。

※展示室内でご利用の際は、他のお客様のご迷惑にならないようイヤホン等をご用意ください。

アプリのダウンロードはこちらから:
https://welcome.mapps.ne.jp/pocket/



Nagoya City Art Museum
INFORMATION 2025.4-2026.3
年間案内

特別展
Temporary Exhibition

常設展
Permanent Exhibition

常設企画展
Special Thematic Exhibition

特集
Special Exhibition from the Collection

教育普及事業
Education

名古屋美術館